

平成 20 年 10 月 31 日
沖縄電力株式会社

平成 20 年度第 2 四半期決算について

平成 20 年度第 2 四半期(累計)の売上高は、前年同期に比べ 51 億 9 百万円増(+6.2%)の 881 億 34 百万円、経常利益は、28 億 9 百万円減(△36.5%)の 48 億 91 百万円、四半期純利益は、18 億 58 百万円減(△38.5%)の 29 億 74 百万円となり、2 年ぶりの増収減益となりました。

販売電力量は、電灯が前年同期に比べ 2.8%減の 15 億 12 百万 kWh、電力が 1.1%増の 24 億 74 百万 kWh、合計では、0.4%減の 39 億 86 百万 kWh となりました。

収入面では、電気事業において、販売電力量の減少はありましたが、燃料費調整制度の影響などによる電灯電力料の増加から、売上高は前年同期に比べ 51 億 9 百万円増(+6.2%)の 881 億 34 百万円となり、経常収益は 54 億 10 百万円増(+6.5%)の 887 億 85 百万円となりました。

一方、支出面では、電気事業において、修繕費や減価償却費の減少はありましたが、燃料価格の高騰による燃料費や他社購入電力料の増加などによる影響から、経常費用は前年同期に比べ 82 億 19 百万円増(+10.9%)の 838 億 93 百万円となりました。

なお、当事業年度の間配当金については、1 株あたり 30 円といたします。

通期の業績予想は、売上高は 1,733 億円、営業利益は 86 億円、経常利益は 56 億円、および当期純利益は 33 億円を見込んでおります。

売上高については、電気事業において第 2 四半期累計期間の販売電力量が計画を下回ったことに加え、燃料費調整における特別措置の実施に伴う第 4 四半期の燃料費調整額の圧縮などにより、前回発表した予想より 35 億円下方修正しております。利益については、売上高の減少が見込まれるものの、原油価格の下落に伴う燃料費の大幅減などにより、前回発表より営業利益を 19 億円、経常利益を 21 億円、当期純利益を 12 億円それぞれ上方修正しております。

別紙：決算の概要

以上

(別紙)

【決算の概要】

■連結経営成績（2年ぶり増収減益）

(単位：百万円)

	平成20年度 第2四半期累計(実績)	平成19年度 第2四半期累計(実績)	増減	増減率
売上高	88,134	83,025	+5,109	+6.2%
営業利益	6,269	9,662	△3,393	△35.1%
経常利益	4,891	7,701	△2,809	△36.5%
四半期純利益	2,974	4,832	△1,858	△38.5%

■販売電力量

(単位：百万 kWh)

	平成20年度 第2四半期累計(実績)	平成19年度 第2四半期累計(実績)	増減	増減率
電灯	1,512	1,555	△43	△2.8%
電力	2,474	2,449	+25	+1.1%
合計	3,986	4,004	△18	△0.4%
参考	民生用需要	3,297	△28	△0.8%
	産業用需要	689	+10	+1.5%

○連結業績予想

業績予想については、平成20年7月29日に公表した予想数値から修正しております。

■連結収支見通し比較（3年連続増収減益）

(単位：百万円)

	今回発表予想 数値	前回発表予想 数値(7月公表)	増減 (対7月公表)	平成19年度 実績
売上高	173,300	176,800	△3,500	161,521
営業利益	8,600	6,700	+1,900	14,809
経常利益	5,600	3,500	+2,100	10,971
当期純利益	3,300	2,100	+1,200	7,072

■需要見通し

(単位：百万 kWh)

	平成20年度 (見通し)	平成19年度 (実績)	増減	増減率
電灯	2,905	2,945	△40	△1.3%
電力	4,540	4,546	△6	△0.1%
合計	7,445	7,491	△46	△0.6%